

伊良原の盆踊り【いらはらのぼんおどり】



開催場所

京都郡みやこ町大字帆柱ほか
地区内の初盆家庭、各集落の小堂

開催日

8月13日～8月17日
毎年ほぼ、この日程で行われる

【芸能の概要】

犀川町の、旧伊良原村一帯を中心に踊られている盆踊りである。犀川谷のものと若干趣を異にし、全般にゆっくりとした調子のものが多い。節回しは「サーヤル ヨーヤル」「ヨッポイナ」「ヨーヤセ」などがあり、これに「口説き」と呼ばれる長大な歌詞を付けて唄う。口説きには「鈴木主水白糸口説き」「阿波の鳴門巡礼口説き」「平井権八」など当地方で広く唄われているもののほか「城井谷崩れ」など当地に取材したものもある。うちわ片手に円陣を組み、唄い手を脇あるいは中央に置いて踊る。

【芸能の特徴】

戦前期頃の踊り子には仮装するものも多く、一つの興趣(きょうしゅ)となっていたが久しく見られなくなっていた。近年お年寄りの中にこれを思い出して仮装して踊りに参加するものも出て、往年の賑わいが再演出されている。集落に伝わる「盆口説き」の歌詞の背景から、江戸時代後期には始まっていたのではないかとされているが、詳細は定かではない。細々ながらも、中止することなく今日まで伝わっている。なお、盛時(戦前期)には、隣接の津野谷(添田町)や寒田谷(築城町)からくるものもあり、円陣が2重～3重に組まれることもあった。

【使用する祭具・道具など】

囃子はなく、口説きに合わせ、小さい輪になって踊る。上伊良原地区6集落、下伊良原地区11集落に共通した唄と踊りである。

・アクセス

平成筑豊鉄道犀川駅より車で約20分

・周辺の観光

犀川公園、ユータウン犀川、蔵持山、
B&G 海洋センター
健康ウォーク in さいがわ(3月)
蛇淵キャンプ場開き(6月)、犀川町納涼大会(8月)
犀川町産業文化祭(11月)

・近くの特産品

いちご、梨、ゴボウ、米。

